

# 広報活動

JICAは、開発途上国の抱える課題や日本との関わり、JICAの各種取り組みなどを、さまざまな媒体や活動を通じて発信しています。2018年度は、第8回太平洋・島サミット開催に合わせて「大洋州」、多数の外交周年を控えた「中南米」、「明治150年を迎えた日本の近代化と開発協力の経験」を特定テーマとし、戦略的に取り組みました。

## ウェブサイト、ソーシャルメディア

開発途上国を取り巻く課題や、JICAの取り組みや成果などをウェブサイトで国内外に紹介しています。ソーシャルメディア（Facebook、Twitter、YouTubeなど）も活用し、ウェブサイトと連動した発信にも注力しています。

## 広報誌

和文月刊誌『mundi』、英文季刊誌『JICA's World』では、国際的な会議などのタイミングをとらえた特集や、関心を集めている課題に関連するJICAの事業などを紹介しています。2018年度の特集テーマは、スポーツと開発、観光、新JICA発足10年、アフリカなどでした。

## 報道メディア

本部や国内拠点からプレスリリースを発信するほか、テーマを設けて勉強会を開催しています。本部は、日本らしい協力や革新性の高い取り組み、国内拠点は地方自治体、大学、中小企業、青年海外協力隊員など、地域の組織や人が主役となっていく協力について、積極的に情報提供しています。

海外メディア向けには、各国の拠点がプレスリリース発信や勉強会、事業現場へのプレスツアーを実施しています。2018年度は、中米・カリブアカ国から新聞・テレビ記者を日本に招き、「環境と再生可能エネルギー」をテーマに日本の技術・経験を取材する機会を提供しました。

## イベント

グローバルフェスタJAPAN（東京）をはじめ国内外でさまざまなイベントを単独主催、または外務省や地方自治体、大学、NGOなどと共同で開催し、広く一般の方々に直接、国際協力やJICA事業を紹介しています。

## JICAオフィシャルサポーター

元プロテニスプレーヤーの伊達公子さん、元サッカー



タイ：JICAが「高齢者の地域包括ケア」に取り組むリハビリセンターで、高齢者たちと交流する伊達公子さん

日本代表の北澤豪さん、シドニー五輪の女子マラソン金メダリストの高橋尚子さんが活動しています。2018年度は伊達さんが11年ぶりに活動を再開し、タイを訪問。高橋さんはタンザニアを訪問しました。それぞれが現場で見て感じた開発途上国の現状やJICAの取り組みは、マスメディアなどを通じて広く発信されました。

## なんとかしなきゃ！プロジェクト

特定非営利活動法人国際協力NGOセンター（JANIC）、国連開発計画（UNDP）駐日事務所、国連広報センター（UNIC）との共同の国際協力推進活動「なんとかしなきゃ！プロジェクト」（通称「なんプロ」）は、10年目の節目を迎えた2018年度末をもって活動を終了しました。最終年度は、漫画やテレビ番組などを通じて開発途上国や国際協力を身近に感じる発信に注力しました。JICAは、なんプロ終了後も、若い世代の共感に訴える活動を続けていきます。これまで、ご協力、ご支援をいただき、誠にありがとうございました。



モデルの柴田紗希さん（中央）とラオスで活動する青年海外協力隊員たち

差別や暴力と闘うアフガニスタンの女性たちの姿を描いた作品はJICAウェブサイトで開催され、多くの反響を呼んだ